



広報

大熊町役場会津若松出張所

9月1日発行 / 大熊町役場総務課 所在地：福島県会津若松市追手町2番41号 ☎フリーダイヤル：0120-26-3844(代)
E-mail：okuma@town.okuma.fukushima.jp / ブログ大熊町 <http://blog-okuma.jugem.jp/>
大熊町公式ホームページ <http://www.town.okuma.fukushima.jp/>

今月の主な内容

- 長期避難者等の生活拠点の検討に係る
個別協議会が開催されました ②
- 町のうごき ③
- 町民のひろば ④～⑥
- KIZUNAおおくまふれあい通信 ⑦～⑪
- お知らせ ⑫～⑮
- 保健だよせり ⑯
- 町民掲示板と ⑰
- あらかると ⑱

フルーツの香り漂う ロマンの里

おおくま



9

がんばろう会津 負けるな大熊

—会津東山盆踊り—

2013〔平成25年〕No.494

長期避難者等の生活拠点の検討に係る 個別協議会が開催されました

第1回郡山市部会

8月6日、郡山市にある福島県合同庁舎において、長期避難者等の生活拠点の検討のための個別協議（郡山市部会）が開催されました。今回の個別協議（郡山市部会）では、長期避難が予想される富岡町、大熊町、双葉町と郡山市、福島県避難地域復興局、復興庁が集まり、郡山市に整備を予定している県営復興公営住宅の整備方法等について協議しました。

◆協議概要

・長期避難者等の生活拠点の確保・整備方針について

郡山市としては、避難住民へ対する支援は出来る限り行って行きたいという意見がありました。ただ、一部の市内小中学校では教室数の不足が予想されるので、今後の対応について協議が必要です。

・郡山市内に整備する復興公営住宅の設計概要について

郡山市に整備する県営復興公営住宅は、概ね390戸を予定しています。設計は福島県の標準的な設計で、1階部分が2LDK、2階以上が3LDKとなる予定です。

また、各復興公営住宅には集会所も整備する予定です。

第1回会津若松市部会

会津若松市とは、これまでも個別に協議を進めてきましたが、8月8日に会津若松市生涯学習総合センター（稽古堂）において、長期避難者等の生活拠点の検討のための個別協議（会津若松市部会）が改めて正式に開催されました。個別協議（会津若松市部会）では、大熊町と会津若松市、福島県避難地域復興局、復興庁が集まり、会津若松市に整備を予定している県営復興公営住宅の整備方法等について協議しました。

◆協議概要

・長期避難者等の生活拠点の確保・整備方針について

復興公営住宅への入居時期を平成26年度後半というスケジュールで考えており、基本的な設計は終わっています。門田地区（70戸）の復興公営住宅は当初5階建てでしたが、地区住民の方との調整で4階建てとすることになりました。今後は、入居募集について協議しています。

町では、長期避難が予想される町民の皆さまの生活拠点を早期に整備するため、これから国や県、各市町村と協議を進めていきます。

また、協議の進捗状況等については、随時町民の皆さまにご報告します。

「広報おおくま
8月1日号」
に関する訂正

広報おおくま8月1日号2ページに掲載いたしました「大川原地区での先行除染結果について」で、環境省で公表した除染面積が誤っておりましたので、次のとおり訂正させていただきます。

◆事業の概要（除染面積）

誤 「25ha（農地16ha、森林7ha、道路2.1ha（住宅5棟含む）」

正 「29ha（農地19ha、森林8ha、道路1.9ha（住宅5棟含む）」

井上環境副大臣が中間貯蔵施設の 調査報告に訪れました

井上環境副大臣が、現在行われている中間貯蔵施設の事前調査についての経過報告のため7月26日、大熊町役場会津若松出張所を訪れました。

井上副大臣は「5月より実施しているボーリング調査は順調に推移し、ほぼ終了しつつあります。盛土試験などまだしばらくかかりますが、引き続きよろしくお願いします。また環境省では、安全対策検討会を立ち上げ、中間貯蔵施設についての議論を重ねております」と報告しました。



経過報告に訪れた井上環境副大臣

渡辺町長は「これから中間貯蔵施設の問題や廃炉など大きな課題が山積していますが、我々も町民の皆さまの意向を十分に尊重した取り組みをしていきたいと思っていますので、環境省もしっかりとした対応をお願いしたい」と要望しました。

また町側からは「ボーリング調査の実施にあたっては地元の行政区長や町民の皆さまにご理解・ご協力を得て実施しているので、そういった方々を交えて中間報告を行って欲しい」「除染効果を単なる数値のみで示すのではなく、その結果によって帰れるのかどうかまで明確にして欲しい」などの要望を出しました。

環境省が中間貯蔵施設の問題について話し合う安全対策検討会において、今秋を目途に中間貯蔵施設の具体的な形が示され、併せてボーリング調査の結果についても公表される予定です。町では、この結果を踏まえたうえで町民説明会を実施します。

東京都三宅村職員と意見交換を実施



意見交換の様子

大熊町の復興計画に携わる職員が8月1日、東京都三宅村を訪れ、三宅村職員と意見交換を実施しました。

三宅村は平成12年9月から平成17年2月までの4年5カ月間、噴火による全島避難を経験しています。大熊町とは避難事由は違えど、全住民避難という歴史上数少ない経験をしている三宅村の当時の取り組み等を学ぶため、村役場を訪問して意見交換を行いました。意見交換では、当時の支援体制や全島避難から帰島までのプロセス等について話し合いました。

今回の意見交換は、今後の復興計画に活かされます。

健康で楽しく働ける、豊かなまちをつくりましょう。
みんなで助けあい、明るいまちをつくりましょう。
きまりを守り、平和な住みよいまちをつくりましょう。
自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
進んで学び、香り高い文化のまちをつくりましょう。

「ガモコレ・イン会津若松 + 大熊」が開催されました

一般シニア女性モデルのファッションショー「巢鴨コレクション」が7月20日、神明通り商店街の50周年記念イベント「ガモコレ・イン会津若松+大熊」として會津稽古堂で開催されました。

会津若松市・大熊町の40歳から76歳までの男女20人がモデルとして参加し、



出演者の皆さん

自分のお気に入りの服や小物、地元洋品店から無償で借りた衣装を身に着け、カジュアルとフォーマルの服装でそれぞれ登場しました。

音楽に合わせてポーズをつけながらランウェイを歩く姿は堂々としていて、観客席からのたくさんの拍手にプロ顔負けの表情で応えていました。

参加者の多くが「一生の思い出になった。」「またあったら出たい。」と、笑顔で話していたのが印象的でした。



観客の前でポーズ

平成25年度相馬野馬追が開催されました

今年度も伝統ある相馬野馬追が7月27日～29日にかけて、南相馬市の雲雀ヶ原祭場地で執り行われ、標葉郷大熊町騎馬隊から4騎の武者達が出場しました。

大熊町騎馬隊は27日、相馬小高神社より出陣。「宵乗」「甲冑競馬」「神旗争奪戦」「野馬懸」と、3日間にわたる全ての儀式に参加し、その颯爽たる勇姿で全国から集まった観覧者を魅了しました。

●大熊町騎馬隊

御先乗	鈴木	清彦
郷大将付組頭	坂井	常雄
螺役	渡部	達也
螺役	渡部	雅也



大熊町騎馬隊

町民のひろば

双葉郡町村対抗交流野球大会が開催

第38回町村対抗交流野球大会が7月28日、広野町総合グラウンドで開かれ、双葉郡八町村が参加しました。震災および原発事故により中断していましたが、今回3年ぶりに開催されました。

大熊町の代表チームは、渡部茂幸監督のもと各避難先から16人の選手が集まり、広野町との初戦に臨みました。結果は惜しくも敗れてしまいましたが、持てる力を十分に発揮した素晴らしい試合でした。



開会式に臨む選手たち

県民スポーツ相双地域大会が開催されました

第66回福島県総合体育大会県民スポーツ相双地域大会が8月4日、相馬市で開催され、大熊町からは「壮年ソフトボール」「卓球」「バドミントン」の3種目に参加しました。

この大会は、震災以降避難が続いている状況において、スポーツを通して交流を深め、相双地域の絆を取り戻すために開催されています。

「スポーツアリーナそうま」で開かれた開会式終了後、各会場で熱戦が繰り広げられました。結果は、卓球が第3位、バドミントンが第2位という素晴らしい成績を残しました。



各種目参加者



開会式の様子



バドミントン表彰

各試合会場の様子



壮年ソフトボール



卓球



バドミントン

おおくまつくば夏祭りを開催

筑波大学の学生による「おおくまつくば夏祭り」が8月10日、会津若松市城北小学校北応急仮設住宅で開催され、多くの人たちで賑わいました。

今回の夏祭りを企画した筑波大学の学生たちは、「創造的復興プロジェクト」という授業の一環で、福島県や茨城県を中心に様々な活動をしています。昨年の11月には同仮設住宅で「いもにかいまつり」を開催しており、その縁もあって今年度は学生たちと仮設住宅の方々が主体となって夏祭りを開催しました。



ソードパフォーマーぐれんさんによるショー



相馬盆唄

会場には、焼きそばや焼き鳥など食べ物コーナーや、学生ならではのユニークな手作り屋台など、大人から子どもまで楽しめるコーナーが並び、訪れた人たちは笑顔で楽しんでいました。

また、会場中央に立てられたやぐらの周りには、相馬盆唄に合わせて踊りの輪が広がり、暑さにも負けず学生たちの元気な掛け声が、夏の夜空に響きわたっていました。



力強い太鼓演奏



相馬盆唄の踊りの輪

会津東山盆踊りが開催

「がんばろう会津 負けるな大熊」と銘打った会津東山盆踊りが8月13日から16日にかけて、会津若松市東山温泉で開催され、宿泊客や会津若松市民、大熊町民などたくさんの参加者が詰めかけました。

祭り最終日の16日は、「会津若松市民・大熊町民盆踊り」が催され、東山温泉を流れる湯川の上に建てられたやぐらの周りで参加者は、「相馬盆唄」と「会津磐梯山」の拍子に合わせてお互いの盆踊りを踊り合いました。



KIZUNA おおくまふれあい通信

第5号

東日本大震災と、それに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、大熊町は全町避難を余儀なくされ、私たちは今も、全国各地に分散して不自由な生活を強いられています。

長期化している避難生活、先行き不透明な状況の中で、ふるさと「おおくま」に対してどのような想いを抱いているのか、直接避難先へ訪問してインタビュー取材を行い、本紙に掲載させていただきます。

「KIZUNAおおくまふれあい通信」を通して届けられた想いを共有し、ふるさと「おおくま」と皆さまを「絆～きずな～」でつないでいくことができれば幸いです。

※株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただきます。



町民体育祭（鉄人レース）



敬老会

「KIZUNAおおくまふれあい通信」で、 あなたの想いを伝えてみませんか？

KIZUNAおおくまふれあい通信では、避難されている皆さまへ想いを伝えていただける方を募集しています。避難先での活動や避難生活で感じていることなど、あなたの想いをこのコーナーでお話してください。大熊町民の方ならなたでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

応募先

大熊町役場会津若松出張所総務課秘書広聴係
電話：0120-26-3844 FAX：0242-23-7093
E-mail：somu@town.okuma.fukushima.jp



梨狩り



福島県 会津若松市

かわにし あきら
河西 確さん

自宅は熊1区。今年7月、同区の歴史をまとめた「熊一区の歩み」を再編集し発行した。現在、妻と共に会津若松市内の借上住宅で生活している。

(写真右は妻・ミツ子さん)



「熊一区の歩み」は、過去、昭和61年に発行しました。今回はそれ以降についてを中心に編集しました。編集開始当初、文字だけの殺風景なものとなりましたが、当区老人クラブ副会長だった川崎さんが、様々な出来事を撮影した写真を分類した上で社会福祉協議会に寄贈し、提供してくれました。川崎さんは、写真が趣味で数多く撮影しているのは知っていました。が、避難後、それらを自宅から持ち出してくれるとは思っていませんでした。そのため、写真を入れ再編集し、この7月、発行することができました。

今版では、昭和61年度版は地震の被害や避難により手元に無くなってしまった方も多いのではと思い、前半を第1章として同年度版を複写したものを、後半を第2章として、新たな編集分としました。発行後、町の広報に掲載されるなどして、多くの方々より欲しいというご連絡をいただき、数に限りはありますが、郵送料のみで差し上げています。

避難を始めてから、間もなく2年半になろうとしています。私の自宅のある集落を含めた熊地区は、古くは、幕藩体制以前、豪農・熊氏の発祥した歴史のある土地です。ここ100年程度だけをみても、第二次大戦後、開拓地への入植、高度成長期以降は宅地化が進みました。それに

従い、かつて、低湿地で手がつけられなかったようなところも今や立派な住宅地になるなど、地区全体の姿形が大きく変わりました。また、地区内の共同墓地や公園などは、過去に整備拡張が行われましたが、それらは私有地の寄贈によって行われたこと、地区内にある馬頭観音の由縁など、原発事故により、当面帰還が難しく人々の記憶が加速度的に遠のいていく中、今この時期に記録を残さなければ、何もなくなってしまうと思います、歩みの編集を決意し筆をとりました。

避難以降、私は体調を崩すことが多くなりました。特に、膝を痛めるなどしたため、長時間歩くことが難しくなりましたが、痛いから歩かないというのは悪循環になるため、震災前から続けているパークゴルフや各種行事には可能な限り参加するなどして、妻とともに故郷を思いながら日々を送っています。



発行された「熊一区の歩み」と提供を受けた写真の一部



福島県 会津若松市

いちかわ はじめ

市川 一さん

自宅は下野上2区。同区長で民生委員。入居している城北小学校北仮設住宅の自治会の立ち上げに中心となって加わり、同自治会長を務めている。現在、同仮設住宅に家族5人で暮らしている。



町職員を定年退職後、行政活動や福祉関係に関わりながら、時折、ソフトボールを楽しむ。震災まではそんな生活でした。一昨年の3月11日、地震発生後、指定された避難所である地区の集會場で、衣食を欠く中、多数の皆さんと共に一夜を過ごしました。翌朝から自宅の修復ができると思っていましたが、原発の非常事態が起きていとも分らないまま、避難だと地域の皆さんが集まり始め、同12日の午後、自衛隊の車両で町を離れました。それから、はや2年以上の歳月が流れてしまいました。

私は、町を離れてから関東地方の親類宅や避難所を経て、孫の就学のこともあつたため、避難した翌月上旬には田村市内の避難所に移りました。その後、会津若松市への移動を経て、同9月には、現在生活している仮設住宅に入居できました。

この仮設住宅では約40世帯が生活しています。すでに他市町村を含め、各地に多くの仮設住宅団地がありますが、ここは中心市街地の中にある珍しいところだと思います。駅や中心商店街などが徒歩圏内にあります。仮設住宅の入居にあたって、震災前の行政区など地域コミュニティーの維持が掲げられましたが、建設戸数の問題などもあり、そう理想的には進みませんでした。この仮設住宅に同じ行政区の方

もおりますが、大半は、お互い初めて近所になる皆さん同士です。慣れない土地での生活を少しでも快適に送れるようにと、一昨年10月、自治会を発足させました。お互いに声をかけあったり、行事を行ったり、仮設住宅内の共有スペースや施設の管理運営を行ったりするうちに、この約2年間で私たち約40世帯は、出身行政区に関係なく、「城北小学校北仮設住宅」としてコミュニティーが形成され、団結が生まれたと感じています。今では、住宅敷地内の空地に野菜を植えたり、プランターに花を植えるなど、雪の無い時期には、色鮮やかな様子も見られます。雪の季節には、協力し合って雪かきを行ったりしています。一方、仮設住宅が立地する地域の皆さんとの交流も密にさせていただいており、ありがたいことに、隣接する城北小学校で行われる行事や城北町が開催する夏まつりなどの各種行事には招待を頂くなどしております。地域の皆さんには、ほとんど経験したことが無い雪かきや氷雪上の歩き方から教えてもらいました。

原発事故の避難によって、当町民だけでも約4千人が会津若松市にやってきました。突然のことにも関わらず、私たちを受け入れて下さり、支援の手を惜しみなく差し伸べてくれている当地の皆さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。



神奈川県 鎌倉市

たちばな ひろみ

橘 弘美さん

自宅は熊1区。同区の女性グループ「すみれ会」会長。

現在、夫の避難先・会津若松市と往復する生活を送っている。

(写真左は夫・秀人さん)



被災当日は金曜日で、夕方から踊りの稽古や、その夜には、川崎市内に単身赴任していた夫の帰宅を控えていたため、早めに外出を済ませ帰宅したところで地震に遭い、割れた食器で足にけがを負いました。そのうち、行政区長さんが体育館に避難するよう呼びかけにきました。犬や猫がいるため避難所行きを躊躇しましたが、連発する余震に危険を感じ、その夜は避難所で過ごしました。帰宅予定の夫とも連絡が取れない中、不安な一夜となりました。

翌朝、避難指示が出され混乱している中、スポーツセンターで実家の両親たちと合流し、その後、迎えに来た南相馬市在住の長男とともに、県内外の親類宅や避難所等を経て、現在生活している鎌倉市内の借上住宅に移りました。一方、夫は震災後、定年退職を迎えましたが、大熊にある終の棲家に戻ることができず、町役場があり、友人が多く避難している会津若松市内の借上住宅に移りました。

私は日本舞踊「藤咲流」の教授として自宅で教室を開いています。避難後、避難先で近所の皆さんを対象に教室を開いて地元の皆さんと交流したり、生徒さんたちが生活している避難所を、踊りに使う着物と踊りのテープを持って訪ねて歩いたりしました。私の生徒さんのほと

んどは子どもたちで、窮屈な生活を強いられる中、久しぶりの稽古を楽しんでくれました。また、同じ施設にいる避難者の皆さんから、その様子を見て、練習にも関わらず、一調べ終わるごとに拍手を頂くなど、生徒さんたちだけでなく避難者の皆さんに、僅かばかりではありますが、ほっと笑顔になれる時間を差し上げることができたのではないかと思います。現在、会津若松で教室を開いており、生徒さんは祖父母や親御さんの送り迎えで通ってきていますが、生徒さんたち以上に、そうした大人たちのほうが、子や孫の練習の姿、成長の姿を見て楽しんでいられるように感じられます。被災後、一時は二度と来ないのではないかとさえ思ったそうした時間を、再び皆さんと共有できる喜びを感じているところです。

地震の翌日、町を離れたとき、長年可愛がってきた犬二匹と猫を自宅に置いたままにしてしまいました。その後、犬だけは幸い救出されました。しばらく一緒に過ごすことができましたが、うち一匹が再び自宅の地を踏むことなく亡くなりました。避難が無ければもう少し長く生きていられたのかと思うと残念ですが、夫やもう一匹の愛犬とともに、踊りの稽古を続けて地域との絆を保ちながら生きていきたいと思っています。



福島県 郡山市

さとう たつじ

佐藤 起児 さん

自宅は熊3区。被災当時、妻は長女（写真中抱かれている女兒）を妊娠中だったが、避難中、無事に出産した。

現在、郡山市内の借上住宅で、妻、子2人とともに暮らしている。



私は大熊町内の燃料販売会社に勤務していました。被災当日、私は休みでしたが、双葉病院に看護師として勤務していた妻は勤務中でした。地震発生から約1時間ほど経って、妻と携帯電話がつながりましたが、妻自身が無事であることと同時に、電話の向こうからは、地震のため作動したと思われる院内の警報装置のアラーム音をはじめ、混乱する院内の様子が伝わってきました。当時、すでに妻は身重でしたが、怪我もなく無事な様子にほっと胸をなでおろしました。

余震の続く中、自宅の状況や家族の無事も一通り確認でき、地震の発生を受けて勤務先が心配だったため駆けつけたところ、停電のためガソリンスタンドのポンプが動かず、手動で汲み上げていました。その人海戦術に加わりましたが、来店客が絶えることはありませんでした。そんな中、夕方帰宅した妻と母が、逆に私を心配して私の様子を見にくることもありました。そして、午後11時過ぎ、消防団の車両が屋内退避を広報したため、止むなく営業を中止し、その夜は、避難所になっていた大熊中学校で過ごしました。

翌朝、避難指示が出されましたが、妻は、入院している患者さんが心配だからと病院に向かいました。病院には、父が夜勤で前日から勤務していたため、父も付いているし何とかなるだろうと

思い、母とともに車で町を離れました。その夜、妻から、患者さんや父とともに三春町内の避難所にいる旨のメールが入り、翌日、無事再会して家族全員揃うことができました。それ以降、妻の状態を考え、避難所ではなく、親戚宅にお世話になりました。おかげ様で、その後、無事長女を出産し、第二子にも恵まれ、現在に至っています。

私は、避難後、子どもの誕生、生活場所の確保などに時間を費やしてきました。勤務先は避難以降休業しています。そうした中、避難先での就職を考えた時期もありましたが、原発事故により、生活や仕事を奪われたことは不幸な事実としても、それによつて生まれた「時間」を有効に活用したいと考えるようになりました。そこで、まずは子育て。子どもたちと向き合う時間をしっかり持つのは、この時代、非常に難しいといわれていますが、これも好機ととらえ、家事とともに取り組んでいます。一方、将来の復興に向けた備えとして、宅地建物取引主任者の資格試験に挑戦して合格しました。

震災があつた年に生まれた長女は、2歳になりました。この子が何歳になったときになるかはまだ分かりませんが、「ここが故郷だよ」と帰還できる日が来ることを願いながら、その日に生かせるような挑戦を続けたいと思います。

「大熊町ふるさとまつり」を開催します!

町民の「絆」を大切に、長年培った町民同士のつながりを維持するために、今年も「大熊町ふるさとまつり」を開催します。

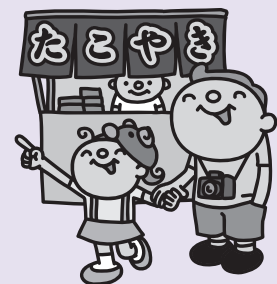
開催日時 10月5日(土)
午前10時～午後3時

開催場所 松長近隣公園仮設住宅駐車場
(会津若松市一箕町松長1-17-1)

開催内容 決まり次第お知らせします。
※11月にはいわき市での開催を
予定しています。



昨年の会津会場の様子



【お問い合わせ先】
大熊町観光協会事務局
(大熊町商工会)
☎0242-29-5770

運動教室のご案内

暑い日が続いていますが、体調を崩したりしませんか?
みんなで楽しく体を動かし、暑い夏を吹き飛ばしましょう!

日時 9月10日(火) 9:30~11:30

場所 大熊町役場いわき連絡事務所 2階

内容 筋力低下防止のための軽い筋力トレーニング、ストレッチ、
血圧測定、健康相談等の個別相談

準備物 熱中症予防のための飲み物(水やお茶)、汗拭き用タオル

講師 いわきはり・きゅう介護予防チームの先生

※参加される方は、9月9日(月)までに、電話でお申し込みください。

【お申し込み・お問い合わせ先】

大熊町役場いわき連絡事務所 フリーダイヤル0120-26-5671



原子力損害賠償巡回法律相談のご案内

福島県では、福島県弁護士会と連携し弁護士による対面の法律相談を実施しております。相談料は無料ですので、請求手続きについて不明な点などお気軽にご相談ください。
なお、事前予約制としておりますので、下記までご連絡をお願いします。

◆相談料 無料

◆相談時間 30分（午後1時30分から午後3時50分の間に実施）

◆事前予約受付番号 024-523-1501

※受付時間：午前8時30分～午後8時（平日）

◆巡回法律相談実施予定

実施市町村	実施日	実施会場（所在地）
福島市	9月18日(水) 10月23日(水)	福島県青少年会館 福島市黒岩字田部屋53-5
二本松市	9月26日(木) 10月16日(水)	福島県二本松合同庁舎 二本松市金色424番地の1
伊達市	9月11日(水) 10月9日(水)	福島県伊達合同庁舎 伊達市保原町大泉字大地内124番地
郡山市	9月4日(水)、11日(水)、18日(水) 10月2日(水)、24日(木)、30日(水)	福島県郡山合同庁舎 郡山市麓山1-1-1
白河市	9月6日(金)、12日(木)、19日(木) 10月3日(木)、10日(木)、17日(木)	白河商工会議所 白河市道場小路96-5
会津若松市	9月6日(金)、13日(金)、27日(金) 10月7日(月)、18日(金)、25日(金)	福島県会津若松合同庁舎 会津若松市追手町7-5
南会津町	9月25日(水) 10月9日(水)、23日(水)	福島県南会津合同庁舎 南会津町田島字根小屋甲4277-1
南相馬市	9月12日(木)、19日(木)、26日(木) 10月10日(木)、17日(木)、24日(木)	福島県南相馬合同庁舎 南相馬市原町区錦町1-30
いわき市	9月3日(火)、17日(火)、24日(火) 10月1日(火)、8日(火)、22日(火)	福島県いわき合同庁舎 いわき市平字梅本15番地

『つぶてソング』『あらしのよるに』合唱団員募集のご案内

被災地の演奏団体を招いた音楽公演を展開しているNPO法人おんがくの作業場（東京）は来年3月に東京で開くコンサートに出演する「混声合唱団」と「児童合唱団」を会津若松で結成します。3・11東日本大震災の際にリアルタイムで詩を書いた詩人・和合亮一さん、それに曲を付けた作曲家・新実徳英さんの『つぶてソング』を、また、人気の絵本ガブとメイの物語に上田真樹さんが曲を付けた『あらしのよるに』をオーケストラ版で演奏します。

つきましては、下記のとおり合唱団員を募集しますので、興味のある方はぜひご参加ください。

- ◆名 称：「つぶてソング」会津合唱団および「あらしのよるに」会津子ども合唱団
- ◆練習日：9月より月3～4回 土曜日または日曜日の午後2時間程度
- ◆練習場所：會津稽古堂 研修室及び多目的ホール
- ◆参加費用：無料（※ただし合唱団登録及び運営費として初回に1,000円徴収します）
- ◆楽 譜：「つぶてソング」2,940円 「あらしのよるに」1,890円
※ご希望の方には初回練習日に実費でお分けします。
- ◆合唱指導：新実徳英、郡司博、渡部智也、山神健志、津上佳子等を東京から派遣

参加するコンサートは、2014年3月16日（日）新宿文化センター大ホールで開催される《オーケストラとうたう日本の合唱曲》です。

【お申し込み・お問い合わせ先】『つぶて・あらしのよる』会津事務局 小澤久美子
〒965-0877 会津若松市西栄町6-38 ☎0242-27-0065 FAX 0242-27-2371

The image shows two recruitment posters for a choir. The left poster is titled 'オーケストラと一緒にうたおう 混声合唱 音楽は驚かだが、驚かではない新実徳英 『つぶて(礫)ソング』'. It lists details about the performance, including the conductor (Shinmi Tokuhide) and the venue (NPO Jingu). The right poster is titled '「あらしのよるに」会津子ども合唱団 オーケストラといっしょにうたおう！'. It also lists details about the performance, including the conductor (Shinmi Tokuhide) and the venue (NPO Jingu).

成長産業等人材バンク事業のお知らせ

福島県では、県内の企業等に就職を希望する求職者および企業等の雇用支援を目的とした「成長産業等人材バンク事業」を実施しております。

この事業は、求職者の安定的な雇用および県内企業等の必要な人材の確保・育成を目的として、最長6カ月間の研修や職場実習を通じ、就労に必要な知識・技能を修得し、実習先企業への就職に向けた支援を行うものです。

事業の概要につきましては、ホームページで公開しておりますので、ご覧ください。

福島県 雇用労政課 人材バンク **検索**

【お問い合わせ先】

福島県商工労働部雇用労政課 ☎024-521-7290

The advertisement features a collage of photos showing diverse people in various work settings. The main text reads '長期的に働くチャンス 福島県がバックアップします' (Long-term job opportunities, Fukushima Prefecture backs you up). Below this, it says '実習生募集中!' (Recruiting interns!). A small box explains the '人材バンク事業とは' (What is the talent bank project?). At the bottom, there is a flowchart: '入社' (Join company) -> '研修先で実習' (Train at training site) -> '就業先エントリー' (Apply to employment site) -> '長期的な雇用' (Long-term employment). Logos for partner organizations like '株式会社イーネット' and '株式会社ワールドアップ' are also present.

ペットを飼っている方へのお知らせ

例年9月20日から26日までの期間は、動物の愛護及び管理に関する法律第4条の規定により、動物愛護週間と定められております。ルールとマナーを守り、家族の一員として責任を持って飼育をお願いします。

- ・犬もねこも大切な家族の一員です。愛情と責任を持って飼いましょう。
- ・不幸な子犬や子ねこを増やさないために、不妊・去勢手術を受けさせましょう。
- ・ねこの「室内飼い」をすすめていきます。交通事故や病気がから守りましょう。
- ・犬の登録と狂犬病予防注射を受けましょう。
- ・犬の放し飼いは止めましょう。人に噛みつきたり、交通事故にあうかも知れません。
- ・きちんとしつけをしましょう。トラブルを防ぐだけではなく、災害時など同行

避難する場合にも重要です。

- ・保健福祉事務所では保護・収容された犬やねこを譲渡しています。責任を持って飼ってくださる方は、保健福祉事務所にご相談ください。

お問い合わせ先

相双保健福祉事務所

☎0244-26-1351

大熊町役場会津若松出張所
環境対策課
フリーダイヤル

0120-26-3844 (代)

講演

お腹の底から笑うと、心も体も元気になった気がしませんか？

笑いが健康に良いことは医学的に実証されつつあり、注目を浴びています。笑いの健康効果と笑いを生かした効果的なストレス解消法など、分かりやすく教えていただきます。ぜひご参加ください。

■日時 9月11日(水)

14時～15時30分

(受付：13時45分～14時)

■場所 福島県相双保健福祉事務所 2階大会議室

■内容 講演「笑ってストレス解消！心と体を癒す笑いの力」

講師 福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター 教授 大平哲也先生

■参加費 無料

■申込期限 9月10日(火)まで

お申し込み・お問い合わせ先

福島県相双保健福祉事務所 障がい者支援チーム

☎0244-26-1132

心も身体もリフレッシュしてみませんか？

今回、音楽を通してリフレッシュし、心の健康を保つために講演会を開催します。一緒に歌い、身体を動かして、泣き、笑いの体験型の講演会です。ぜひご参加ください。

■日時 9月25日(水)

14時～15時30分

(受付：13時30分～14分)

■場所 道の駅「南相馬」

■内容 講演「音楽が果たす心のやすらぎ～生きるを

考える～」

講師 日本音楽療法学会 (JMTA) 認定音楽療法

士 近藤美智子先生

■参加費 無料

■申込期限 9月24日(火)まで

お申し込み・お問い合わせ先

福島県相双保健福祉事務所 障がい者支援チーム

☎0244-26-1132

「顔晴ろう！大熊っ子！大会」の開催

今年も、大熊町の幼稚園、小中学校合同による運動会「顔晴ろう！大熊っ子！大会」が開催されます。子どもたちの元気な姿をぜひご覧ください。

日時：9月14日(土) 午前9時より(雨天の場合15日に順延)

※9月15日も雨天の場合は中止となります。

会場：大熊町立熊町・大野小学校会津若松校舎校庭

(会津若松市河東町大原田字村中186：旧河東第三小学校跡地)

駐車場：会場および近隣に駐車場がありませんので、次の駐車場をご利用ください。

①会津若松市役所河東支所駐車場およびJAあいつ河東支店駐車場

②河東学園小学校駐車場

昨年開催の様子



新しい顔を取り戻せ



神旗争奪戦



組体操

子育て中の

大熊町では役場機能のある会津・いわきで
相談会や子育てひろばを開催します。

お母さん集まれ



会津 育児相談会

ほっとひといき
いつ つくの？
『今でしょ!』

前回の育児相談会では、「手軽にできる手作りおやつ」を親子で試食しました。おいしくいただきました。

さて今回は、ママさん同士ゆっくり&リフレッシュしていただけるように、お茶会を計画中です!!

たまには、お子さんと少し離れて、ゆっくりおしゃべりしながら紅茶などいかがですか？お子さんたちは、ベテラン保育士におまかせ!

申し込みは不要です。お気軽にお越し下さい。

- 対象：就学前の乳幼児とその保護者（保護者のみ、妊婦さんも大歓迎です）
- 日時：9月19日（木）（受付は10時から11時）
- 場所：河東保健センター
- 内容：育児相談、身体計測、栄養相談、歯科相談、身体相談など希望によって
- 持参物：母子健康手帳、オムツ、ミルク、着替えなど育児に必要な物、バスタオル（ベビーマッサージ希望の方）

【お問い合わせ先】 大熊町役場会津若松出張所 保健センター
フリーダイヤル 0120-26-3844

いわき 『子育てひろば』 大熊っ子あつまれ!

『いよいよ、いわきで「子育てひろば」はじまりま〜す!!』

親子で楽しめる場所♪お友達と出会える場所♪フリースペースで自由に遊べます。出入り自由のひろばです。みなさんをお待ちしています。

- 対象：就学前の乳幼児とその保護者（祖父母も大歓迎!）
- 日時：9月11日（水）9時30分～12時
以降毎月第2水曜日
9月11日、10月9日、11月13日、12月11日、
1月22日、2月12日、3月12日
※行事等により変更になる場合は別途通知いたします。
- 場所：大熊町役場 いわき連絡事務所 1階 会議室
- 内容：育児相談、栄養相談、絵本の読み聞かせや紹介など希望によって実施します。



【お問い合わせ先】 大熊町役場いわき連絡事務所
フリーダイヤル 0120-26-5671（保健師 花房/市岡）

参加者募集!

おおくま町会津会 田子倉ダム遊覧船・柳津虚空蔵尊日帰り研修

- 出発日** 10月16日(水)
- 集合時間** 午前7時45分
- 集合場所** 会津若松駅前
- 参加費** 1人当たり1,000円
- 募集定員** 30人(定員になり次第締め切りとさせていただきます)
- 申込締切** 9月22日(日)

行程

会津若松駅前(8:00) — 三島道の駅 — 田子倉ダム(遊覧船・10:30~12:00) — 只見(昼食・12:20~13:20) — 柳津虚空蔵尊(14:50~16:00) — 会津若松駅前(16:45頃)

※会津交通観光バス利用

【お問い合わせ先】 おおくま町会津会 ☎090-7078-2327(山本)

こらんしょ大熊(県北地方大熊町 避難者交流会)を開催します

県北地方避難者交流会「こらんしょ大熊」では、福島市や伊達市等に避難されている町民の皆様、交流会へのご参加をお待ちしています。

- ◆日時 9月21日(土)
10:00~14:00
- ◆場所 旧佐久間邸
(〒960-2154 福島県福島市佐倉下加藤7-6)
電話:024-546-3948

【お問い合わせ】
代表 菅野充史 ☎090-7233-1148

茨城県に避難の大熊町のみなさんへ 大熊町避難者コミュニティ 「積小為大の会」のご案内

9月の定例会は以下の通り開催します。

- ◆日時 9月29日(日) 9:00~12:00
- ◆場所 社団法人茨城県産業会館
(水戸市桜川2-2-35)
- ◆駐車場 産業会館の駐車場をご利用ください
- ◆内容 弁護士による種々の法律勉強会および個人相談
- ◆その他 町民同士の情報交換



コミュニティ開催の様子

【お問い合わせ】
野田朋弘(日立市) ☎090-8423-5608
Email: tomohiro-n@higashi-t.com

おくやみ申し上げます

死亡者名	年齢	住所
2013年(平成25年)6月		
宇都宮 奎子	72歳	北 向
出澤 さく	99歳	南 台
2013年(平成25年)7月		
杉内 テル子	86歳	原
ヨシダ マリアテレサカバハグ	43歳	大 野
猪狩 透	82歳	西 平
渡部 みき子	64歳	新 町

「広報おおくま8月15日号」に関するお詫びと訂正

広報おおくま8月15日号2ページに掲載いたしました「ご一緒にコーラスしませんか?」の中で、練習開催日に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

- 誤 「毎週水曜日夜7時から9時」
- 正 「毎週木曜日夜7時から9時」

生活支援課

「おおくま希望の翼」を 実施しました。

平成25年度大熊町海外派遣事業「おおくま希望の翼」が8月2日から9日間の日程で実施され、中高生19人が姉妹都市のオーストラリア・バサースト市へ派遣されました。

8月2日に行われた出発式では、鈴木副町長が「この事業を通し豊かな創造性と旺盛な意欲を発揮され、常に自覚ある行動をとりながら、真剣に各自の研修テーマに取り組んでいただきたい」とあいさつし、参加者たちは期待に胸を膨らませながらオーストラリアに向けて出発しました。

参加者たちは、ホストファミリー宅でホームステイをしながら、地元の高校で英語研修を行ったり、生徒たちとの交流を深めました。また、世界遺産のブルーマウンテンやオペラハウスを見学するなど、オーストラリアの自然や文化にも触れ、参加者それぞれが貴重な体験と楽しい思い出を胸に帰国しました。

会津若松出張所で行われた到着式では宮本祐里菜さんが代表して「今回の経験を今後の活動に生かしていきたい」とあいさつし、全行程を終了しました。

à la carte

あらかると



ビクターズセンターで記念撮影



ホストファミリーと一緒に



シドニー市内視察

栃木県鹿沼市の夏祭りに招待されました



「新・鹿沼宿夏祭り～まちなかで盆踊り～」が8月10日、栃木県鹿沼市のまちなかの駅「新・鹿沼宿」で開催され、大熊町民8人が参加しました。

同市には大熊町民をはじめ、多くの福島県民が避難しており、祭りの実行委員会から「今年はぜひ避難している方も祭りに参加



祭りの様子

して、福島県の盆踊りを見せて欲しい」と招待を受けました。

同市に避難する松本光清さんの呼びかけで、会津若松市やいわき市、郡山市から大熊町民7人がボランティアで駆け付け、祭りに集まった約500人の市民の前で正調相馬盆唄を披露しました。相馬盆唄の笛や太鼓、ホラ貝など独特のリズムと雰囲気により市民の方たちも初めは戸惑った様子でしたが、次第に慣れ踊りの輪が広がっていきました。



招待された皆さん